平成１９年　１月３０日 第１０号
発行:鹿児島県立屋久島高等学校
上屋久町宮之浦２４７９－１
TEL0997-42-0013　F 42-0620

八重岳

屋久高プレス

特集　総合的な学習の時間～見学及び講演等

総合的な学習の時間

１年生88人が１月16日、環境教育の一環として、屋久島広域連合「屋久島クリーンサポートセンター」の見学を実施しました。まず当センターの担当者から施設の概要の説明があり、その後センターに搬入されない「生ごみ」等４種類を除き「燃えるごみ（ビニール類を含む）」「ペットボトル」等９種類のごみの処理の過程を見学しました。

生徒の感想に「ビデオを見て思ったことは、とにかく沢山の行程を経てごみは処理されている。そしてペットボトルのラベルを係の人が手作業ではがしているのを見て分別の必要性を理解した」「屋久島で大量のごみが一カ所で処理されているのに驚いた。しかも１日何トンものごみが回収されるのに驚いた」などが多数あり、分別の大切さなど理解できたようです。

また23日、ーBSの南徹先生を迎え２年生に向け「世界は自分の中にある」という演題で講演会が実施されました。「自然に対する畏敬の念を持つ、自分が変わることで脳を鍛える」など人生の示唆に富む話があり、生徒たちは「何かに夢中になっている人は背景には数知れない努力や苦しさがある」という感想を述べていました。

３学期始まる

総合的な学習
点字学習

始業式の中で田代校長は①３年生の中にはこの後センター試験を受験する生徒もいる。進路が決まった者も卒業を控え仕上げの学期である。②１、２年は次年度に向けての３学期をゼロ学期と位置づける必要がある。２年生は今年の９月から就職試験など始まることも念頭に置いて学習に励まないといけない。１年生は将来を考え始めないといけない時期になってきた。③１年の計は元旦にありという。目標を定め、達成への継続的な取組が大切である。など生徒を励ましました。

今すぐ取り組めることから実践しよう。２年生は３年生に進級し、１年生も後輩が入ってきます。それぞれの学年として恥ずかしくないように、勉学や部活動などに頑張っていきたいものです。

センター試験受験

鹿児島大学で激励する校長

本校３年生19人が進路実現のためセンター試験を１月17・18日の両日鹿児島大学で受験しました。昨年度から始まったリスニングも２度目となり本校の生徒たちも練習の成果が出せたのではないでしょうか。またその他の科目についても、多数の受験生の中で受験した経験がないというハンディはあるかもしれないが、そんな雰囲気に負けず日頃の力を発揮できたものと思います。

出発に先立ち、受験生たちに17日本校会議室で激励会が開かれ、諸先生が励ましの言葉をかけていました。

センター試験での得点などをもとに私立大・国公立大等の試験に向け、２月から特別時間割を組み受験指導を実施します。

今後の主な行事

２月１日～27日　３年自宅学習
２月１日～９日　教育相談
２月２日　　１，２年就職模試
２月５日　統一ＬＨＲ
　　　　情報セキュリティ
２月８日　テーブルマナー講習
２月10･11日
　　　　２年進研マーク模試

２月14日～21日
　　　　直前対策学習会

２月22日～27日
　１･２年生学年末考査

２月28日　同窓会入会式
３月　１日　第58回卒業式

ＢＬＳ教育講習会

３年生に対して徳洲会病院の指導で、両町救急隊の協力の下、「ＡＥＤ」の操作方法の理解、ＢＬＳ（一次救命処置）のトレーニングが実施されました。卒業後、ほとんどの生徒が島外で生活することとなりますが、とっさの対応として必要なことではないかと考えています。生徒たちは、「実際このような状態の人に対して今日のようにきちんとやれるか自信がない。しかし、周りと協力し少しは生かせると思う」とその感想を述べていました。卒業に向けてのプレゼントになったことでしょう。

ボランティア活動

１月27日上屋久町において「やくしまっ子」わんぱくフェスタ2007が実施されました。この企画は本校高校生クラブ「ぽんかん」と子ども会育成連絡協議会の主催で青年団連絡協議会の協力により、町内の幼児・小学生などに対して多様な体験活動を通し異年齢間の交流を図ることを目的として実施されました。参加した生徒はバルーンアート・竹とんぼ・紙飛行機などの製作で幼児などと交流を深めましたが、相手に教えることの難しさも体験できたようです。